

スマイル

Smile with your heart 



もちつき

Contents

- P2 KG 学術大会／特別講演会
- P3 院内旅行／クリスマス会／栄養科行事食
- P4 むすびプロジェクト
ホームページのご案内

KG 学術大会



テーマ「リハビリテーション栄養における統合的アプローチの臨床的意義」

本研究では、半固形経腸栄養剤とプロバイオティクスの併用がリハビリ患者の機能回復に及ぼす影響を、FIMを指標として検討しました。その結果、統計的有意差は得られなかったものの、下痢症状が改善した患者群で運動機能の顕著な向上が示され、臨床的意義の可能性が示唆されました。

今後は症例数を拡大し、患者特性に応じた層別解析を進めることで、より精緻で実践的な栄養介入モデルの確立を目指してまいります。

栄養科 N・H



特別講演会

2日間にわたり、外部講師をお招きして「起居動作」に関する勉強会を開催しました。講義では、起居動作の基本的な考え方や構成要素、臨床での評価のポイントを学ぶことができました。実技では参加者同士が意見を交わしながら、参加者同士が被験者となり実技を行う中で誘導方法をご指導いただきました。また、患者様にもご協力いただき、実際のリハビリ場面を見学することで、より臨床場面に即した学びを得ることができました。

実際のリハビリ場面を見学する機会を得たことで、リハビリ介入での細かな評価や声掛けの仕方、患者様への接触、誘導の重要性を改めて感じました。参加者からは「患者様への触り方を学ぶことができた」「教わった誘導の仕方を臨床で活かしたい」「継続して参加したい」との声が多く聞かれました。学びと気づきにあふれた、有意義な2日間となりました。患者様の回復の手助けになるよう今後も勉強会の企画、参加をしていきたいです。

リハ科 T・R



院内旅行

令和7年11月7日に院内旅行でDisneySeaに行きました。アトラクションやショーを楽しみながら、日頃の疲れをリフレッシュし、充実した休日をお過ごしすることが出来ました。天候にも恵まれ、季節の装飾や音楽に触れつつ夢の国を満喫しました。たくさんのキャラクターとも写真を撮ることが出来て、とても良い記念になりました。美味しいフードも食べることができたので大満足です。また来年も院内旅行に参加したいと思います。

リハビリテーション科 M・K



クリスマス会

令和7年12月11日に毎年恒例のクリスマス会を実施しました。今年も当院スタッフによるクリスマスメドレーの演奏会やクリスマスプレゼント釣り、写真撮影を行い季節感を得られたのではないかと思います。音楽に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりと患者様の普段とは違った様子をみることができ私たちも自然と笑顔になりました。温かみのある素敵な演奏で会場全体がクリスマスの雰囲気になりました。

リハビリテーション科 W・S



行事食

10月 テーマ: 秋の洋食御膳

献立

- ・ ロールパン (マーマレードジャム)
- ・ クリームシチュー
- ・ グリーンサラダ
- ・ モンブランプリン



紅葉が一段と色を増す季節となりました。さっぱり食べられる黒酢を使用した和風御膳を提供いたしました。旬の根菜を使用し身体温まる昼食となりました。来月はクリスマスメニューを考案中です。

金木犀の香る10月、秋も深まってまいりました。旬の食材を使った洋食御膳を提供いたしました。ホワイトソースから手作りのクリームシチュー、旬の栗を使用したデザート、秋を感じる一膳となりました。来月は和食で考案中です。

11月 テーマ: 秋のお楽しみ御膳

献立

- ・ 炊き込みご飯 ・ 豚汁
- ・ 鶏と野菜の黒酢あん
- ・ ほうれん草の胡麻和え
- ・ 抹茶水ようかん



12月 テーマ: クリスマス

献立

- ・ バターロール (マーガリン)
- ・ ビーフストロガノフ
- ・ シーザーサラダ
- ・ ショートケーキ



12月に入り、いよいよ冬の訪れを感じる季節となりました。身体が温まるビーフストロガノフ、クリスマスに欠かせないケーキを提供いたしました。彩りも良く、患者様からご好評で普段よりもしっかり召し上がっていただけました。来月はお正月メニューを提供予定です。



第5回むすびプロジェクト研修会を開催しました！

令和7年8月4日、東京品川病院にて「第5回むすびプロジェクト研修会」を開催しました。今回のテーマは「ケアマネジャーの視点とケアプラン作成のプロセスを学ぶ」。現地会場とZOOMを合わせて、725名の方にご参加いただきました！

講義の中で印象的だったのは退院調整の場面でケアマネジャーが「患者さん本人よりもご家族と関わる時間が長い」というお話でした。そのため、ご家族の介護負担の検討が優先となり、患者さんご自身の思いをどのように尊重するかが課題となっているそうです。また、ケアプラン作成では「10年後、20年後、患者さんがどのように人生の最期を迎えるのか」という長い時間軸で支援を考えることの大切さも語られました。とても深く心に残る内容でした。

私たち病院スタッフは、日々患者さんと直接向き合い、退院後の暮らしへの希望や好きなことを聞く機会があります。そうした“患者さんの声”を大切にしながら、ケアマネジャーと積極的に情報を共有していくことが、より良い退院支援につながるのだと改めて実感しました。また、今回の研修を通して、退院後の「生活の時間」に寄り添うことの大切さを改めて学ぶことができました。



講師：株式会社シダー
あおぞらの里
馬橋ケアプランセンター
主任介護支援専門員
小柳淳弥氏



ホームページのご案内



病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。グループ病院ホームページにもリンクできます。



明生リハビリテーション病院

検索

<https://meisei-reha.jp/>

FB

<https://www.facebook.com/meiseireha/>

インスタ

<https://www.instagram.com/meiseireha/>



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

明生リハビリテーション病院

■[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車
徒歩 15 分

■車でお越しの際は、時間に余裕をもって
ご来院ください

◎ お問い合わせ

〒359-1106

埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2681-2

TEL 04-2929-2220

FAX 04-2939-2136

明生リハビリテーション病院へのご案内



理念
手には**技術**
頭には**知識**
患者様には**愛**を

基本方針

1. 安心・安全な医療
学問的に、技術的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2. 回復期リハビリテーション医療
患者さま・家族と医療情報を共有し、入院から在宅まで一貫した、患者さまのニーズに沿った安心できるチームによるリハビリテーション医療を提供します。

3. 地域医療
地域の医療・福祉施設と密接な連携をとり、「寝たきりゼロ」、在宅復帰を目標に誰でも安心して利用できる、回復期リハビリテーション病院を目指します。